

# 年 間 取 扱 概 要

## １．総取扱高

平成12年1月～12月における水産物の総取扱高は、数量194,003t、金額164,432,478千円であった。前年と比較すると、数量で10,186t(5.5%)の増加となり、金額で427,859千円(0.3%)の増加となった。これは、冷凍魚介類が順調に取扱われ、特に「冷ほっけ」「冷にしん」が増増加した要因が大きいと思われる。

## ２．区分別取扱高

### (1) 取扱数量

鮮魚介類53,055t(前年比 3.9%)、冷凍魚介類98,194t(前年比12.0%)、加工品類42,754t(前年比4.4%)であった。主要品目別では、前年に比べ取扱数量が増加したものは、「さんま」「本まぐろ」「国内うに」「冷紅さけ」「冷ほっけ」「原卵数の子」「冷凍食品」等であった。これとは逆に減少したものは、「たこ」「さば」「毛がに」「冷さんま」「冷けがに」「冷たらばがに」「塩すけそうこ」「かまぼこ」「いくら」等であった。

## 最近５年間にける区分別取扱数量の推移

(単位：t、％)

年 次	総 数		鮮魚介類		冷凍魚介類		加工品類	
		前年比		前年比		前年比		前年比
平成 8 年	184,045 (100.0)	105.9	56,545 (30.7)	102.2	85,520 (46.5)	111.7	41,980 (22.8)	100.2
9	183,069 (100.0)	99.5	56,997 (31.1)	100.8	83,890 (45.8)	98.1	42,182 (23.1)	100.5
10	179,875 (100.0)	98.3	53,955 (30.0)	94.7	85,209 (47.4)	101.6	40,711 (22.6)	96.5
11	183,817 (100.0)	102.2	55,197 (30.0)	102.3	87,659 (47.7)	102.9	40,961 (22.3)	100.6
12	194,003 (100.0)	105.5	53,055 (27.4)	96.1	98,194 (50.6)	112.0	42,754 (22.0)	104.4

(注) ( ) 内は構成比を示す。

(2) 取扱金額は、鮮魚介類48,155,857千円(前年比 1.4%)、冷凍魚介類72,266,636千円 (前年比1.1%)、加工品類44,009,985千円 (前年比0.9%) と鮮魚介類以外は前年を上回った。

## 最近 5 年間における区分別取扱金額の推移

(単位：千円、%)

年 次	総 数		鮮魚介類		冷凍魚介類		加工品類	
		前年比		前年比		前年比		前年比
平成 8 年	162,259,703 ( 100.0 )	107.1	50,874,793 ( 31.4 )	101.5	69,167,473 ( 42.6 )	115.8	42,217,437 ( 26.0 )	101.4
9	164,167,853 ( 100.0 )	101.2	51,866,078 ( 31.6 )	101.9	69,794,569 ( 42.5 )	100.9	42,507,206 ( 25.9 )	100.7
10	159,665,599 ( 100.0 )	97.2	48,498,464 ( 30.4 )	93.5	69,249,847 ( 43.4 )	99.2	41,917,288 ( 26.2 )	98.6
11	164,004,619 ( 100.0 )	102.7	48,857,822 ( 29.8 )	100.7	71,510,267 ( 43.6 )	103.3	43,636,530 ( 26.6 )	104.1
12	164,432,478 ( 100.0 )	100.3	48,155,857 ( 29.3 )	98.6	72,266,636 ( 44.0 )	101.1	44,009,985 ( 26.7 )	100.9

(注) ( ) 内は構成比を示す。

### 3 . 区分別平均価格

平均単価は、鮮魚介類908円(前年比2.6%)、冷凍魚介類736円(前年比 9.8%)、加工品類1,029円(前年比 3.4%)であった。

## 最近 5 年間における区分別平均価格の推移

(単位：円、%)

年 次	総 数		鮮魚介類		冷凍魚介類		加工品類	
		前年比		前年比		前年比		前年比
平成 8 年	882	101.1	900	99.4	809	103.7	1,006	101.2
9	897	101.7	910	101.1	832	102.8	1,008	100.2
10	888	98.9	899	98.8	813	97.7	1,030	102.2
11	892	100.5	885	98.4	816	100.4	1,065	103.4
12	848	95.1	908	102.6	736	90.2	1,029	96.6

#### 4．主要品目の取扱状況

水産物の区分別取扱で上位1位から3位は、鮮魚介類は「するめいか」「たらばがに」「白さけ」、冷凍魚介類は「冷ほっけ」「冷たらばがに」、加工品類は「魚漬物類」「塩秋さけ」「冷凍食品」であった。

#### 主要品目の取扱状況

(単位：t、千円、%)

品 目	数 量			金 額		
	1 1 年	1 2 年	前年比	1 1 年	1 2 年	前年比
するめいか	3,489	3,403	97.5	1,189,794	1,086,980	91.4
たらばがに	2,410	2,434	101.0	3,532,416	3,923,846	111.1
白さけ	2,226	2,333	104.8	1,039,448	978,723	94.2
冷にしん	9,558	11,981	125.4	1,227,332	1,562,964	127.3
冷たらばがに	9,187	7,713	84.0	14,977,472	12,863,111	85.9
冷ほっけ	7,469	12,503	167.4	1,294,608	2,177,715	168.2
塩秋さけ	4,110	3,957	96.3	1,534,423	1,431,059	93.3
魚漬物品	3,415	4,036	118.2	3,429,856	3,488,262	101.7
開干ほっけ	2,564	2,304	89.9	949,701	883,198	93.0

#### 5．主要品目の平均価格の状況

鮮魚介類908円（前年比2.6%）と安定しているが、冷凍魚介類736円（前年比 9.8%）、加工品類1029円（前年比 3.4%）が影響し安値となった。

#### 主要品目の平均価格の状況

(単位：円、%)

品 目	1 1 年	1 2 年	前年比	品 目	1 1 年	1 2 年	前年比
するめいか	341	319	93.5	冷にしん	128	130	101.6
たらばがに	1,466	1,612	110.0	冷たらばがに	1,630	1,668	102.3
白さけ	467	420	89.9	冷ほっけ	173	174	100.6
ほっけ	229	294	128.4	冷ほたて	1,009	1,006	99.7
たら	396	398	100.5	冷するめいか	333	254	76.3
たこ	633	704	111.2	塩秋さけ	373	362	97.1
むきほたて	937	1,048	111.8	魚漬物品	1,004	864	86.1
真がれい	655	620	94.7	開干ほっけ	370	383	103.5
さんま	442	439	99.3	塩すけそうこ	1,822	2,243	123.1
毛がに	1,762	1,704	96.7	冷凍食品	956	696	72.8

## 6．道内道外別取扱状況

( 1 ) 数 量      数量の比率は道内66.1%、道外33.9%となった。

### 道内道外別取扱数量の推移

( 単位：t、% )

年 次	総 取 扱 数 量	道 内 数 量	道 外 数 量
昭和 50 年	142,845 (100.0)	109,756 (76.8)	33,089 (23.2)
55	155,160 (100.0)	166,363 (75.0)	38,797 (25.0)
60	150,187 (100.0)	109,971 (73.2)	40,216 (26.8)
平成 元 年	159,423 (100.0)	115,391 (72.4)	44,032 (27.6)
2	157,651 (100.0)	112,736 (71.5)	44,915 (28.5)
3	156,062 (100.0)	114,207 (73.2)	41,855 (26.8)
4	149,757 (100.0)	109,117 (72.9)	40,642 (27.1)
5	153,674 (100.0)	108,795 (70.8)	44,879 (29.2)
6	163,934 (100.0)	116,155 (70.9)	47,779 (29.1)
7	173,814 (100.0)	125,444 (72.2)	48,370 (27.8)
8	184,046 (100.0)	135,476 (73.6)	48,570 (26.4)
9	183,069 (100.0)	135,127 (73.8)	47,942 (26.2)
10	179,875 (100.0)	132,426 (73.6)	47,449 (26.4)
11	183,817 (100.0)	127,357 (69.3)	56,460 (30.7)
12	194,003 (100.0)	128,315 (66.1)	65,688 (33.9)

( 2 ) 金 額      金額の比率は道内68.4%、道外31.6%となった。

### 道内道外別取扱数量の推移

( 単位：千円、% )

年 次	総 取 扱 数 量	道 内 数 量	道 外 数 量
昭和 50 年	81,190,684 (100.0)	57,167,835 (70.4)	24,022,849 (29.6)
55	122,528,285 (100.0)	87,910,472 (71.7)	34,617,813 (28.3)
60	122,936,010 (100.0)	90,542,733 (73.7)	32,393,277 (26.3)
平成 元 年	145,986,655 (100.0)	105,939,558 (72.6)	40,047,097 (27.4)
2	152,152,223 (100.0)	106,253,316 (69.8)	45,898,907 (30.2)
3	150,975,855 (100.0)	109,763,858 (72.7)	41,211,997 (27.3)
4	149,394,979 (100.0)	109,649,993 (73.4)	39,744,986 (26.6)
5	143,600,629 (100.0)	102,867,348 (71.6)	40,733,280 (28.4)
6	149,159,625 (100.0)	105,599,244 (70.8)	43,560,381 (29.2)
7	151,510,059 (100.0)	109,084,788 (72.0)	42,425,271 (28.0)
8	162,259,702 (100.0)	116,417,564 (71.7)	45,842,138 (28.3)
9	164,167,853 (100.0)	120,279,674 (73.3)	43,888,179 (26.7)
10	159,665,599 (100.0)	115,763,632 (72.5)	43,901,967 (27.5)
11	164,004,619 (100.0)	113,258,405 (69.1)	50,746,214 (30.9)
12	164,432,478 (100.0)	112,447,537 (68.4)	51,984,941 (31.6)